



提案の背景

お客様の課題

- 製品乾燥状態のムラ
- 設備スペースの縮小
- 蒸気レス(省力化、省コスト、省CO2)
(蒸気配管メンテナンス、エネルギー効率)



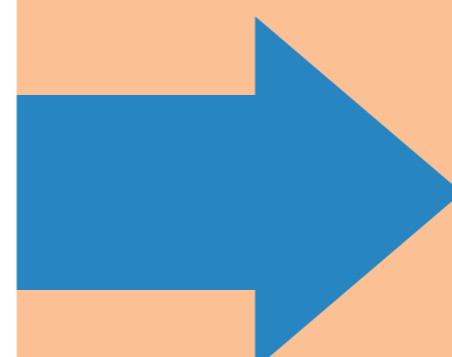
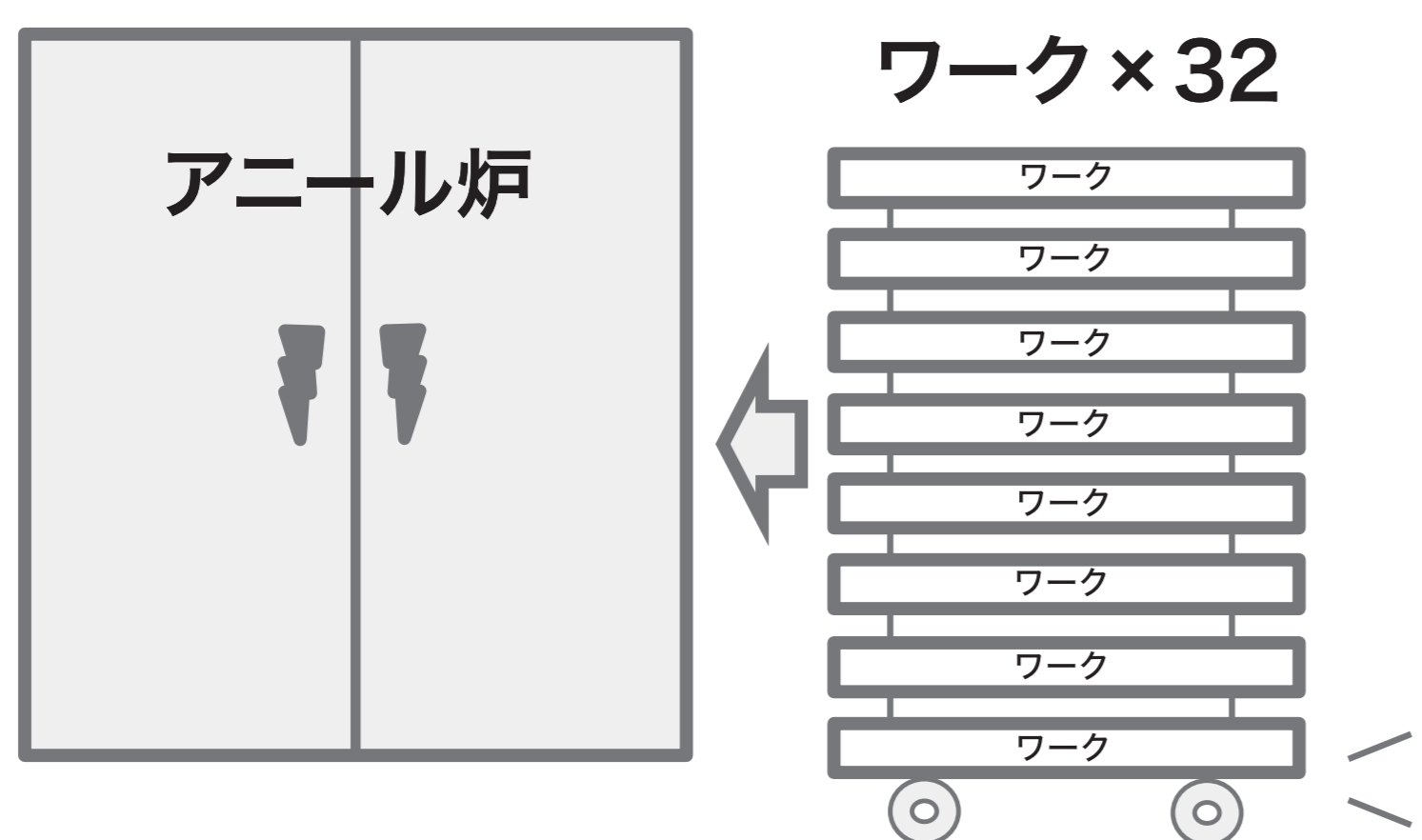
当社のソリューション

- 蒸気乾燥→赤外線乾燥の検討
- 実機と同等条件による加熱トライ実施
 - 最適な加熱条件の見極め
(加熱時間、ワークとの距離、
遠赤外線ヒータの枚数と配置)

導入イメージ

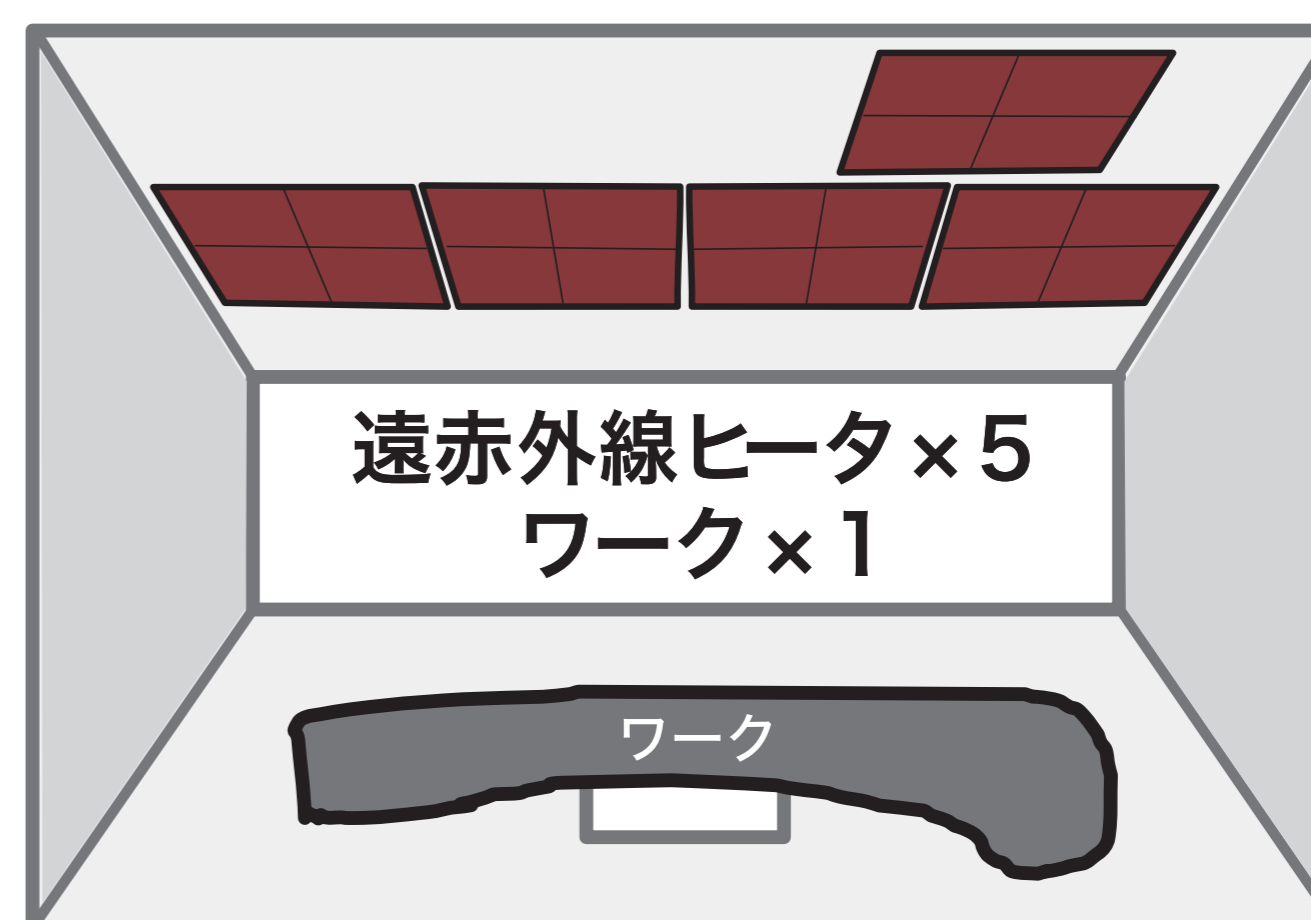
現状

80~90℃のアニール炉(蒸気熱源)にて、
30~60分加熱乾燥



導入後

遠赤外線ヒータにて、1分加熱乾燥



導入効果

- 省コスト : 蒸気(ガス)⇒電気 ▲37%
- 省CO2 : 蒸気(ガス)⇒電気 ▲50%
- 品質 : 表皮含有水分率の安定⇒表皮の正規寸法率の向上
- 省スペース : 在庫スペース面積の縮小 48.6㎡⇒4.6㎡ ▲90.5%
- 省力化 : 段取りに伴う工数を削減
- 作業環境 : 扉開閉時に熱気にさらされることが無くなり作業環境の向上

赤外線加熱装置の特徴

- 必要なときに、必要なだけの加熱が可能
- 周りの空気を加熱せず、直接ワークを加熱できるため、エネルギー効率を高くできる
- 部分的な加熱も可能になり、用途に合わせて使い分けが可能